

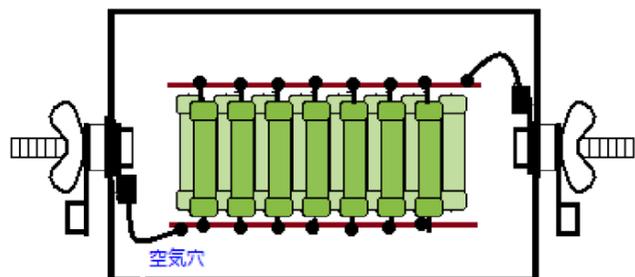
### 500ΩR-Vr3 合成抵抗の作り方

7.5KΩ(5W)の酸化金属抵抗を15本バラ(並列)接続して500Ω合成抵抗にします  
 7.5KΩ(5W)の抵抗を抵抗足受板に取付半田付けします、抵抗足受板に、  
 8本と7本の抵抗を2段構成で配列します  
 プラケースに収めてリード線を半田付けします、端子等を接着剤などで固めて、  
 ふたをして完成です

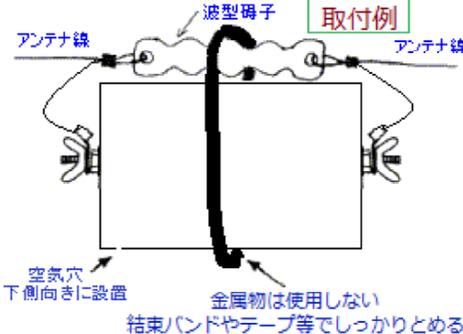
| 部品表                        |              |
|----------------------------|--------------|
| 7.5KΩ 5W --- 15本           | 酸化金属被膜抵抗     |
| 抵抗足受板 --- 2枚               | スズ引き線---15cm |
| ステンレス ちょうナット、ボルト、ナット、ワッシャー | ほか 端子 --- 2組 |
| プラケース 100×65×35mm --- 1個   |              |
| 波型端子 --- 1個                | 結束バンド --- 1  |

### 500ΩR-Vr3 合成抵抗 構成図

ケースサイズ : 100×65×35mm



### 回路図

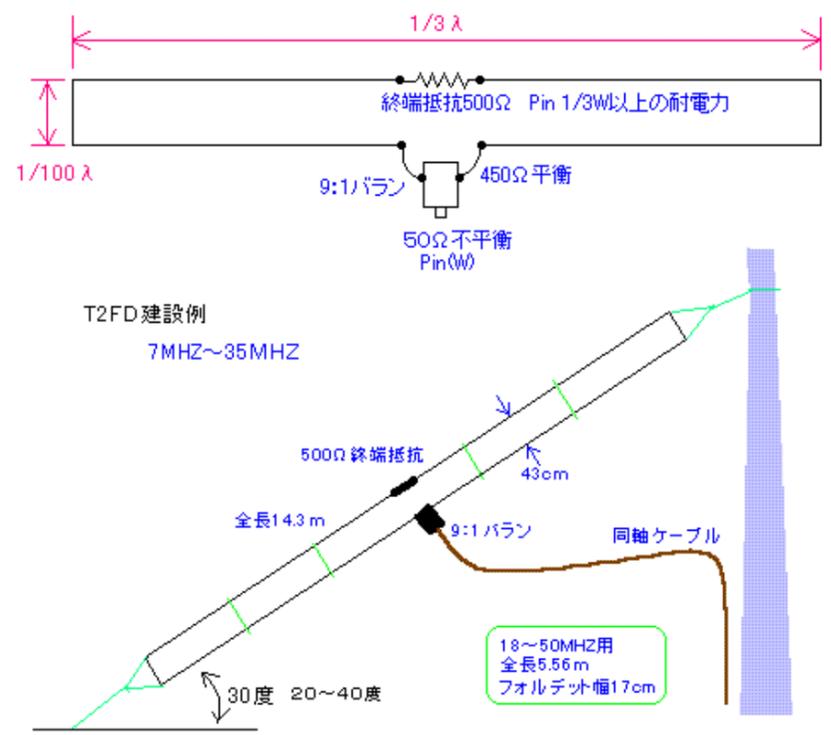


## Tilted Terminated Folded Dipole

終端抵抗型、傾斜式、フォルデッドダイポール

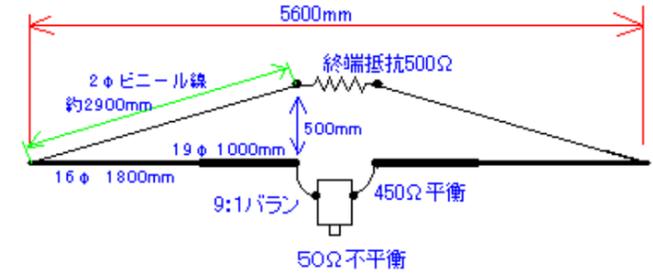
### T2FDアンテナ資料

T2FDの特長 \*無調整で広帯域 SWR2.0以下で1:5  
 \*アンテナの傾斜角度は、30度(20~40°)で無指向性



T2FD建設例  
 7MHz~35MHz

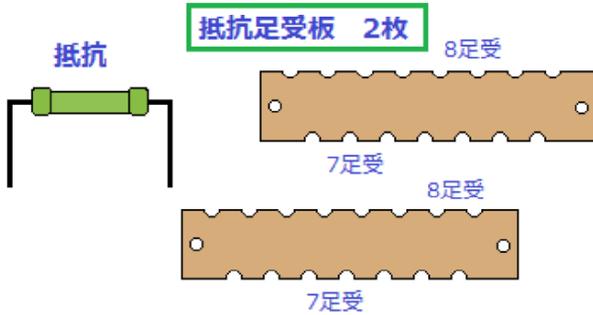
(例) 変形T2FDの構成  
 CQ Ham Radio誌1993年6月号にJH2TQH氏が発表した 変形T2FDの構成



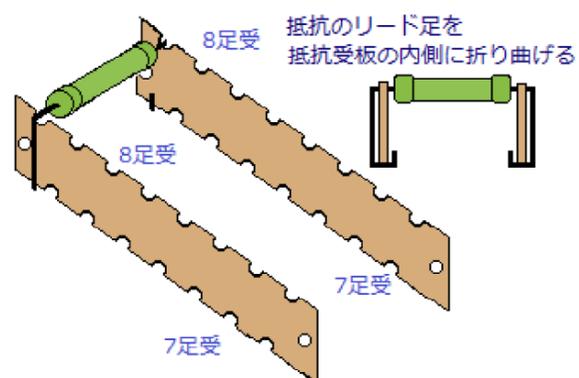
### 参考文献

- \*CQ出版社 ダイナミックハムシリーズ16 「ワイヤーアンテナ」
- \*CQ ham radio誌 1991年9月号 JA1FGW吉田武氏「T2FDのすべて」
- \*CQ ham radio誌 1993年6月号 JH2TQH太田氏「変形T2FDアンテナ」

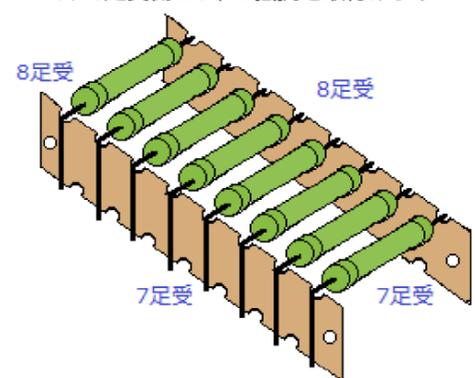
1、抵抗足受板2枚を8足受側と7足受側を揃えます



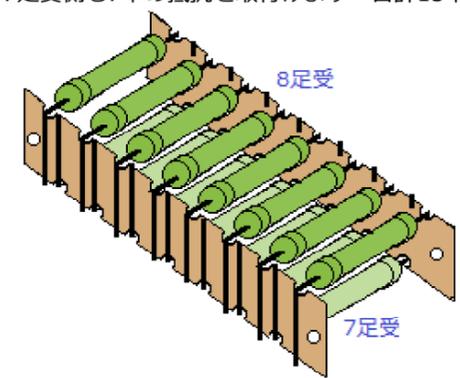
2、抵抗のリード足を受板の内側まで折り曲げます



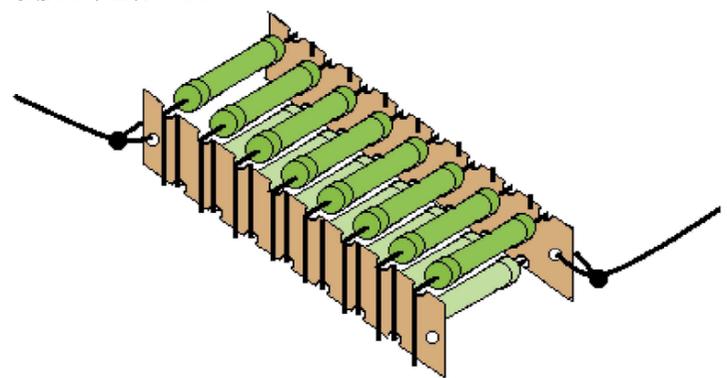
3、8足受側に8本の抵抗を取付けます



4、7足受側も7本の抵抗を取付けます 合計15本です



5、抵抗足受板の各反対側に端子配線用リード線を配線し、抵抗足受板の抵抗と半田付けします



6、ケースに収めて両端子に半田付けします

